

東山

栃木市立大平東小学校
学校だより 第11号
令和8年3月5日
学校長 新村 勲



日々の学校の様子や行事予定をホームページに掲載しています。ご覧ください。



【学校の教育目標】 かしこく なかよく たくましく

じんせいべつりた 人生別離足る

3月に入るとこの詩が心に浮かびます。残り少ない小学校生活を送る6年生たちの姿を見ると、「この杯を受けてくれ」と言いたくなるような気持ちがします。

「サヨナラだけが人生だ」という訳は名訳として有名ですが、本文は「人生別離足る」という漢詩です。人生というものは別れがつきものなのさと突き放した言い方をしながら、別れのさみしさをにじませています。

2月18日（水）に「6年生を送る会」が行われました。1～5年生がこれまでお世話になった6年生に感謝の気持ちを伝える会です。

5年生が中心になって計画・準備・会の進行を行いました。特に、1～5年生の一人一人が一生懸命に歌う姿や歌声は、6年生の心に響くものがあつたようです。自然と涙を流す6年生がいました。

しっかりと「ありがとう」を伝えることができました。

心温まる会になりました。大平東小の子供たちの素晴らしさを改めて感じました。

2月19日（木）、6年生が卒業前の奉仕活動を行いました。校舎前花壇と滑り台にペンキを塗る作業です。おやじの会の方々にお手伝いいただきました。校舎前花壇は白のペンキをローラーと刷毛できれいにぬりました。滑り台は水色のペンキで塗りました。

おやじの会の皆さん、準備から片付け、仕上げの作業までご協力いただき、ありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。

2月下旬から3月にかけて、会議室で6年生と給食を食べています。いつもは一人で検食をしているので、とても楽しい時間になっています。私から3つの質問をしました。将来の夢、6年間で一番心に残ったこと、趣味・好きなこと。

子供たちからの質問にも答えました。「何歳ですか?」「特技は?」「趣味は?」「なんで先生になったのですか?」など。

卒業式では、一人一人にしっかりと卒業証書を手渡したいと思っています。

さかずき う
この 杯 を受けてくれ
どうぞなみなみ注がせておくれ
はな あらし たとえ
花に 嵐 の 喩 もあるぞ
じんせい
「サヨナラ」だけが人生だ



感謝の歌を一生懸命に歌う1～5年生



感謝の歌や言葉を受け止める6年生



きれいになった滑り台前で記念写真



当代PTA会長

ある生活信条

右の文章をご一読ください。

これはナンダ?と思われるでしょう。

全米で357万部のベストセラーとなったロバート フルガム著、『人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ』の中で述べられた生活信条です。

彼は幼稚園の砂場で学んだことを生活信条としています。

彼は次のように述べています。

「人間どう生きるか、どのようにふるまい、どんな気持ちで日々を送ればいいのか、本当に知っていなければならぬことを、私は全部残らず幼稚園で教わった。

人生の知恵は大学院という山のとっぺんにあるのではなく、日曜学校の砂場に埋まっていたのである。」

また、次のようにも言います。

「この中から、それなりと項目を一つ取り出して知識の進んだ大人向けの言葉に置き換えてみるといい。そして、それを家庭生活や、それぞれの仕事、国の行政、さらに世間一般に当てはめてみれば、きっとそのまま通用する。明快でゆるぎない。」

引用が長くなりました。

話が飛んで申し訳ありませんが、これを書いている数日前に他国への武力行使のニュースがテレビから流れてきました。ここで、戦争について述べようとしているではありません。ホントに小さい一つのことを述べようとしているのです。

間もなく、巣立っていく卒業生。

この子供たちの行く手は、決して平たんなものではない、複雑で多様な社会です。そう思うので、あえて、小さなたった一つのことを言いたいのです。

「いきづまったら、途方にくれたら、複雑に考えないで、小さな頃に教わった簡単な方法を思い出さない。」「原点にかえって考えなさい。」

そう言いたいために、この生活信条を引用しました。

巣立っていく子供たちへ、心をこめて贈る言葉。

「何でもみんなで・・・。」

何でもみんなで分け合うこと。

ずるをしないこと。

人をぶたないこと。

使ったものは、かならずもとのところにもどすこと。

ちらかしたら自分であとかたづけをすること。

人のものに手を出さないこと。

誰かを傷つけたら、ごめんなさいということ。

食事の前には手を洗うこと。

(中省)

おもてに出る時は車に気をつけ

手をつないで、はなればなれにならないようにすること。

不思議だな、と思う気持ちを大切にすること。

「私の生活信条」(ロバート フルガム)より

◆1年生の保護者の方から書き込みがありましたので、ご紹介いたします。

最近、うちの子がペーパーチャレランにはまっています。パズルやゲーム感覚で、どっちに進んだ方がいいかあれこれ考えながらやっています。計算をしながら進めるので計算練習にもなっていると思います。2倍のところなど難しいところは親子でやっています。〇〇ちゃんは〇〇点だよなどと言って、少しでも点数がとれるように考えながらやっています。このような学習プリントがあることを初めて知りました。ありがとうございます。

(メールアドレスの入力がなかったのでこちらで返信します)

【校長より】書き込みありがとうございます。「ペーパーチャレラン、これからも続けてください。」「今、最高何点ですか。」「家でコピーしてやっています。」などと保護者の方々から直接お声かけいただいています。何やらお父さん方が燃えているようなのです。作成者としてうれしく思います。

ペーパーチャレランについて、ホームページで簡単に説明していますのでご覧ください。

